(94)

北洋材の積取り

◇……米材（一二二回參照）と相並んで、わが國木材供給の元締を承はるものに北洋材がある、南洋方面から輸入されるいはゆる「南洋材」も最近漸次增加の趨勢にあるが、まだこの兩大關を向ふにまわすほど有力ではない。

◇……普通「北洋材」と稱せらるゝものは、北海道、樺太及び露領沿海州の產材全部をひつくるめたもので、材種は主としてエゾ松、トゞ松、落葉松等、北海道及び樺太材の積出高は約一千一百萬石（昭和二年度）沿海州材は約百八十萬石（同年度）である。

◇……米材が角物として輸入さるゝに反して、北洋材はたいてい丸太のまゝではいつて來る。そして內地で多く板類に割られて、大部分は諸種の包裝箱の材料となり、或は安普請の用材ともなる。素人考へでは北洋寒地の產材は成長も遲々として、材質も緻密に出來上りさうに思はれるが、事實はさう簡單に參らぬといふのは、長い間の嚴寒にいぢけた木々が、短い夏の間にこの時とばかり成長する、いはゞ木材の粗製濫造といふわけ、從つて木質も柔らかになり勝ちの道理。

◇……北洋材の積取り期はまづ四月から十一月まで、それ以後は結氷でどうにもならぬ。奧地で伐つた木材は山川を利用して海岸まで流して來る。そこで筏に組んで最寄の碇舶地まで曳行して、まつてゐる汽船に積み込む。それからはる〴〵濱、畔、神、さては四國、九州の遠くまで輸送するには、運賃だけでも百圓前後から百四五十圓からみ、北洋材百石の相場を五、七百圓としても、その二割見當は運賃に喰はれてゐるわけである。

◇……寫眞は北洋材の積取り

(95)

アイルランド銀行

◇——アイルランドにも英蘭銀行のやうな銀行をたてたいこは、十七世紀の末頃から、ダブリンの有力商人達が抱いてゐた希望であつたが、この希望が實現したのは一世紀近くも經た一七八三年で、初代總裁ダヴイット・ラ・トウシュの下に營業を開始した、資本金六十萬磅、一八〇二年には議會議事堂を四萬磅で買取り、こゝに移轉した。

◇——アイルランド銀行の設立は當時のアイルランド財界に絶大の刺激を與へ、民間銀行も三つ四つと現はれた、始め政府は發券銀行の數を六行に制限したが、一八二一年ダブリンの五十マイル外を限つて六行以外の發券銀行を許可し一八四五年更にその全制限を撤廢した。

◇——群小銀行の簇生はその當然の結果で、瞬く內にその數約五十行に達したといはれるが、一八四四年英國議會で銀行法立案の說明に當つたピールの言によれば、これ等殆銀行の殆ど全部が、當時既に潰滅し盡してゐたといふことだ。

◇——併しアイラルンド銀行は幸ひにして大過なく成長し、現在拂込資本金二百七十六萬九千餘磅、發券高は全アイルランドの發券許可額六百三十五萬餘磅の大部分五百九十七萬三千磅（一九二七年末）、預金高約三千四百萬磅、アイルランドの中央銀行として天晴れの御用をつとめてゐる。

◇——寫眞はダブリン市のアイルランド銀行本店

(96) フイリツピンの米田

◇——米は比律賓人の主食物であるが、米作は天水によるものが多く、河川を灌漑するものは殆ごない。イゴロット族やイフガオ族は二三千尺の高さの山上を拓いて天水を灌き田を作る。渓谷を耕作するこ病氣に襲はれる危險があるからだらうが、さすがに熱帶地方における水田經營の困難を思はしむるに足るものがある。比島の人口一千百萬人、日本人の割合で米を食つたら、少くこも一千萬石以上の供給がなければならぬのだが、收穫高は約三百萬石、それに百五十萬石の輸入外米を加へやつこ日本人の半分にも足らぬ消費量である。こゝにもやはり米の惱みがあるわけだ。

◇——寫眞はイフガオ族の山嶺水田

(97) ドンバス鑛區

◇——一筋のチビ筆を殘せ、地中海からボスボラスを拔けて黑海に入り、左手遙かなるセバストポールの夕照に、クリミヤ戰爭の昔を偲びつゝ、更に海門をくゞつてアゾフ海上の客となる。

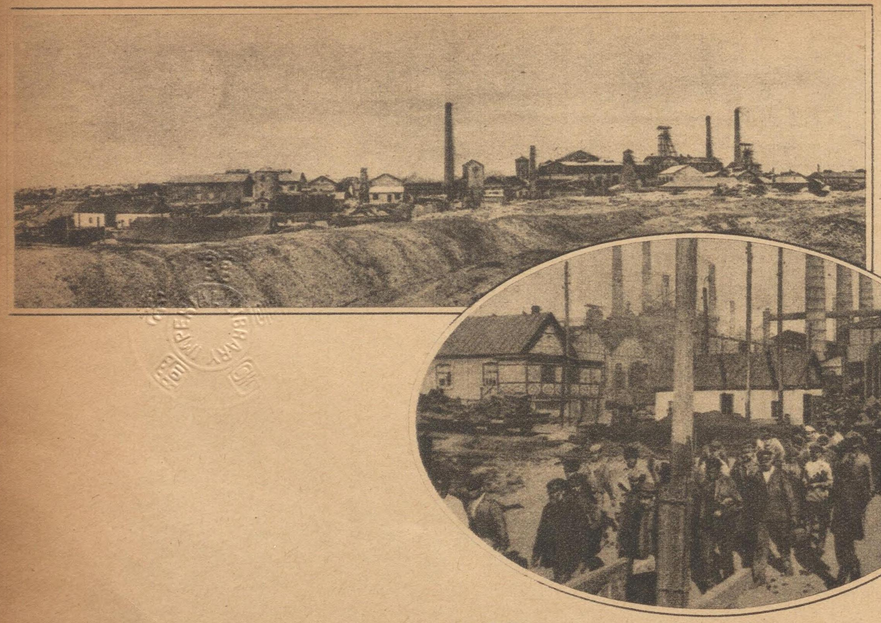
◇——やゝ我が琵琶湖に似たアゾフ海の、例へば大津に當るアゾフの町のあたりへさして、瀨田川ならで、これは反對に流れ込む一大河、ドン河である。このドン河流域一帶はドンバスと稱して古くからロシヤ第一の炭坑地、その埋藏量はロシヤ全國の一割と見積られてゐながら、戰前においては全露炭額の十分の九を供給したもの、

◇——石炭ばかりでない、鐵鑛石も出る、水銀鑛としての辰砂も相當の額に上つたといふが、たゞ山河長久に在れども國を擧げ、人をこぞつてかの制期的變異にかまけて以來、荒れゆくに任ずる幾歲月、

◇——勞農ロシヤの基礎前〻定まるやロシヤ工業振興の根本策はまづドンバス鑛業地の復興にありとして政府は鋭意力をこれに用ひ、鑛山、溶鑛場、その他化學工場の再興新設、發電設備の完成等々、またつとめてアメリカ及西歐諸國の資本と技術を輸入した、何れも政府の嚴重なる管理の下に實行したことはいふまでもない。

◇——而して重要工場はこゝドン河の岸邊に群生して、天晴勞農工業の源泉として地に平和、從つて天に黑煙の絕えざる限り、人々にその幸の將來を約束するに充分である。

◇　寫眞はドンバス地方のシェチエルビノフスク炭坑（上ゝ工場へ通ふ勞働者達（ドン



紐育棉花取引所

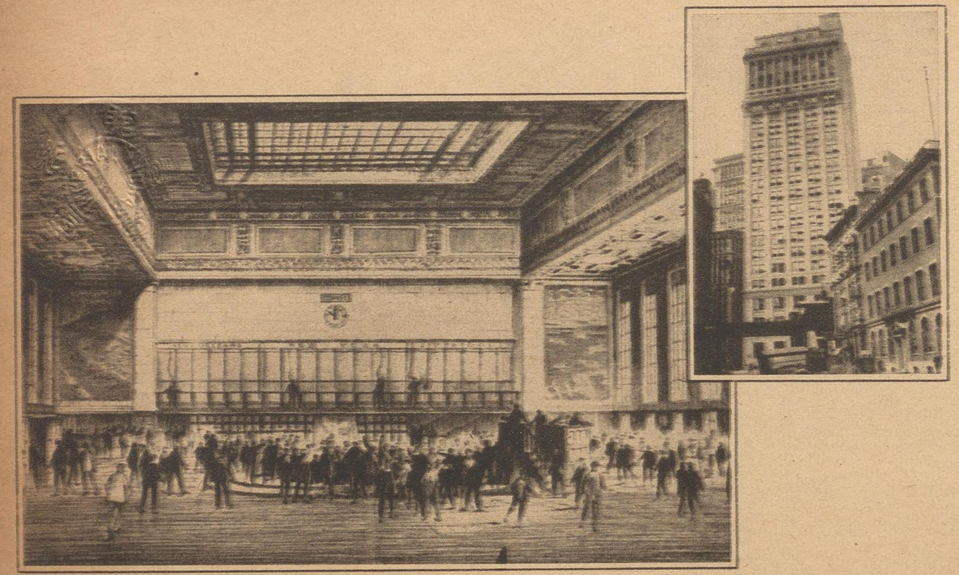
◇――一九二七年の米棉輸出高は九百四十七萬俵（八億二千六百萬弗）で、前年同期に較べると俵數では四パーセント半の増加だが、金額の點になると僅か一パーセント半の増りしかない、棉の値が安かつた證據で、これでは米國の棉百姓さんも困る譯だが、併し何といつても米棉は棉花の王、世界産棉高を二千萬俵（五百封度俵）と見積つても米棉は千二百萬俵（一九二七年度）その六割を占めてゐる。

◇――この米棉の世界的重要さを如實に語るのが、御覽の通りの立派な高樓紐育棉花取引所、百名ばかりの會員を集めてこの取引所が創立された一八七〇年の頃は、紐育の人口も百萬足らずの時分で、バール街に立並ぶ古ぼけた小店舗の階下に初めてニューヨーク・コトン・エクスチエインヂの看板をかけたものだが、

◇――一九二三年に落成したハノーヴアー・スクエアーに於る三度目の新築はウオール街の南、ウイリアム、ビーヴア、バールの三街に跨り、紐育商業區域での最も美麗な建物としてその當時賞金を貰つたといふ自慢の物だけに流石に立派で、設備も到れり盡せり、殊に珍らしいのは取引の場がこの高樓の第十九階に置かれたことである。

◇――忙しい人の出入する場をそんな高い處へ持上げたのがそもく〳〵この社會での新しい試み、當時は隨分反對もあつたさうだが、空中市場の爽かなフレッシュ・エーアと豊かな日光が今では會員一同の誇りとなつてゐる。

◇――寫眞は紐育棉花取引所の建物とその立會場



99

スコツトランド銀行

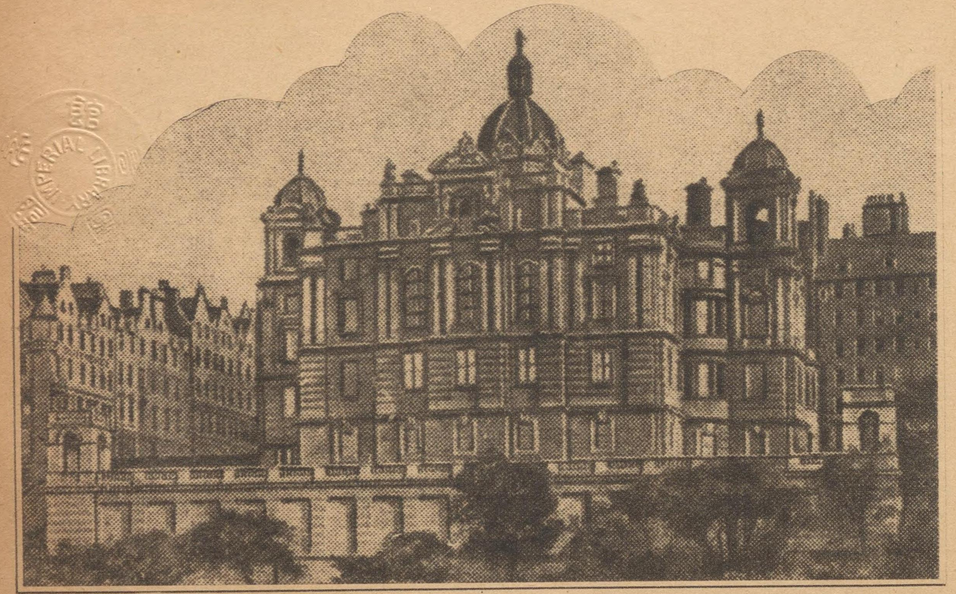
◇ 現在のスコツトランド銀行は、その歴史的意義を外にしては、スコツトランドの金融界に對して何等特殊な重要性をもつてゐない。一六九五年といふその設立年月は英蘭銀行開業の翌年だから、確かに世界最古の銀行たる名譽に當る資格十二分の古色蒼然たるものだし、また一七二七年まではスコツトランド議會の法律によつて、同國における唯一銀行たるの地位を保證されてゐたものだが、

◇ その年になつてこのスコツトランド銀行の獨占法廢止の結果、競爭銀行が續々と濫設され、さすがの元中央銀行(尤も一つが全部だつたのだが)も銀行の洪水に押し流されんとして辛くもふみ止まつたかたち。

◇ 併し勿論こんな風で簇出した「雨後の竹の子」銀行が早晩沒落し去るべきは東西に異例なき古今の鐵則で、スコツトランドのこの凡百銀行も漸次淘汰されて、今ではスコツトランド銀行の外には獨立の株式銀行が五つ六つと、五大銀行(ビツグ・フアイヴ)の子銀行が二つ、何れも發券權を有して資本金といひ、積立金といひ、その他資產負債の內容まで大抵似たりよつたりのドングリの丈くらべ、それで、

◇ わがスコツトランド銀行も所詮このドングリ仲間の一員に過ぎない、しかもその資本金は百五十萬㌻で、ローヤル・バンク・オヴ・スコツトランドの二百五十萬㌻、コマーシヤル・バンク・オヴ・スコツトランドの百七十五萬㌻と順に數へて漸く第三位、兌換券の流通高が二百八十萬㌻で第二位、預金額も三千百萬㌻で、これまた第三位といふ成績、そこで結局今日のスコツトランド銀行は歷史的意義以外には、何等の特殊重要性を有しないといふ冒頭の結論に戻る譯で、英蘭銀行などには勿論、その指導的地位ではアイルランド銀行(九五回參照)にさへ遠く及ばないといふことになる。尤も十分の特權や權能をもつてゐる各國の中央銀行でも、でかい民間銀行を統制するのには四苦八苦の當世だから、スコツトランド銀行のドングリ振りは別に何等の不名譽も意味しないことを保證しておく。

◇ 寫眞はエヂンバラのスコツトランド銀行本店



(100) ゴスバンク

◇――モスクワの鍛冶トヴヨルスカヤ街の中程に餘り大きくもない白堊の建物がある、これはこれ勞農ロシヤの國立銀行ゴスバンク、門口に突立つたいかめしい憲兵が出入の人々のポケットや持物を嚴重に調べてゐる。

◇――ゴスバンクは一九二一年、新經濟政策が採用され、金融機關の必要を見ると同時にその十一月モスクワに設立され、資本金は二千五百萬チエルヴオネツツ、九四五・八チエルヴオネツツを千噸とすると、二千六百八十餘萬噸、今ではロシヤにも各種の特殊銀行があるが、ゴスバンクはこれら各種銀行の資金總額の三倍半の資金を支配し、金融上、斷然指導的勢力を握つてゐる、そのおかげで

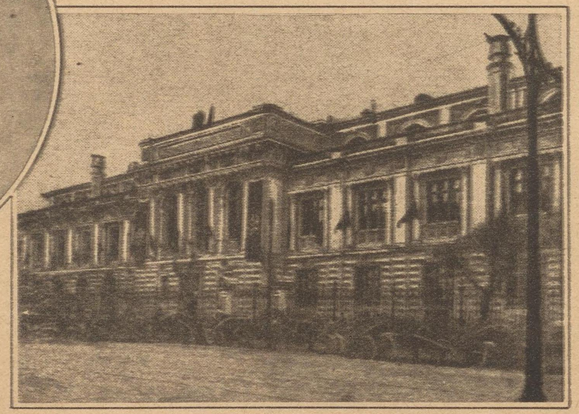
◇――革命以來さしも多樣を極め、反古にも等しい下落をよんだ既發紙幣も一九二二年十月の布告によつて、ゴスバンクがチエルヴオネツツなる新紙幣を發行するに及んで漸次影をひそめ、今では完全にこのチエルヴオネツツに統一さるゝに至り、またチエルヴオネツツ自身もロシヤ當局の渾身の努力空しからず、今では可成りに確實な紙幣となつてゐるが、

◇――振つてゐるのはその保證準備、少なくとも發行高の四分の一以上は金塊または確實な外國貨幣を所有物とすべく、あとの四分の三は容易に貨幣に替へ得べき品、短期證券、爲替手形といふ規定によつて、この貨幣に替へ得べき物品中に舊ロシヤ皇室の財寶が殖てられてゐることだ。

◇――舊ロシア皇室には世界稀有の寶品が、數世紀にわたつて蒐集藏藏されてゐたことは有名な話であるが、ソヴイエト政府で作成した目錄では總數四百六點で、總計五億ルーブルと評價され、中にも「オルロフ」といふダイヤの如き、大きさにおいて世界第一といはれ、百九十四カラット餘、これ一個だけで時價六千四百萬ルーブルだといふし、また四千九百三十六個の寶石を鏤めた優たる王冠一個が實に一億四千萬ルーブルといふ高價なものである。

◇――その他無多の寶物珍品、これこそチエヴオネツツの價値の源泉だと、勞農當局も外國人には好んでゴスバンクの藏の中を見かせてゐる。

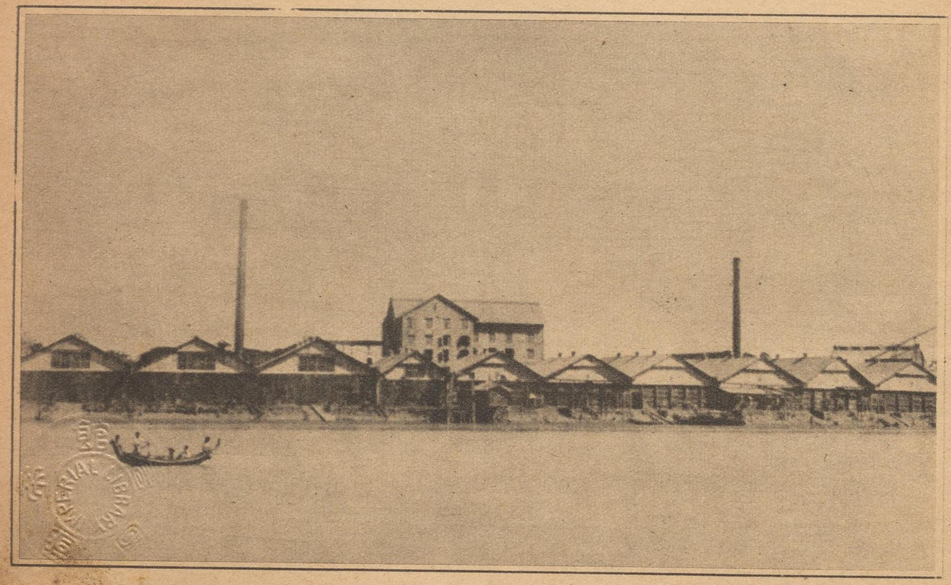
◇――寫眞はゴスバンクと保證準備の王冠



(101) 蘭貢の日綿精米所

◇——いはゆる南京米の本場蘭貢には從來歐洲人經營の精米所の大きなものが五社あつて、彼等はプールを組織し、獨占的の暴威をふるつて始末にをへなかつた。彼等に對抗するにはどうしても一流の精米所を經營する外はない。恰もよし、右五社中の一社が經營者の死亡によつて賣物に出た。それを買取つたのが日本綿花會社である。大正九年春のことであるが、それからこいふものは蘭貢米の日本輸入も激增し今では日本綿花一社だけで十數萬屯の蘭貢米を日本へ輸入し、次いでは三井三菱でも多量に輸入してゐる。

◇——寫眞は日綿所有の精米所、敷地は一萬三千坪、附屬倉庫四百四十坪、精米能力一日七百屯（卽ち四千七百石）日本人社員五名で技師、雇員百數十名と苦力六百名は大方印度人ビルマ人である。位置は蘭貢市外ブズンドン河岸、鐵道引込線で河陸運送の便も持つてゐる。



ロイド組合

◇——珈琲が始めて英國に輸入せられて間もなく、一六八八年のころ、倫敦はタワー街にエドワード・ロイドといふ男がさゝやかな珈琲店を開いた。一年二年と繁昌してくるにつれ自然と客筋が一定して海員、船持、保險業者またはこれに關係のある商人達が尊ら集る樣になり、こゝで種々の海事關係の取引、中にも海上保險契約が盛んに取結ばれるやうになつた。それ以前英國における海上保險業は主としてイタリーから來たロンバード人の手で行はれたが、ロイドの店が出來てからは海上保險業が全くこゝに集中せられるの觀を呈した。それにロイド珈琲店のおやぢ、中々拔け目のない男だつたと見え、海事に關するニュースなどを集めて一種の新聞を發行し、一七二六年以後これがロイド・リストとして今日まで續いてゐる。

◇——一六九二年、タワー街からロンバード街に店舖を移し、業務ますゝ盛大に赴いたが、やがて店主のロイドが死んだので常連の海上保險業者百名ばかりがロイド・リストと共にその店を讓り受け、同業者の組合を組織し、故人の名に因んでロイド組合と名をつけた。その後今は保險ロイドとは獨立した一事業となつてゐるが、船名錄の發行及び船體檢査をも行ふ樣になり、一八七一年には「ロイド」法の下に法的存在を認められた。

◇——現在のロイドは組合員千名に近く、保險料收入は三千萬ポンドに上るといはれてゐる。併し組合であるが、營業はすべて個人の計算でその間に何の連帶關係もない。尤も組合員中更に數名のシンヂケートを造つてゐるのが多く、その內の一人だけが每日店に顏を出す。保險契約の取組は必ずブローカーを通じて行ひ、直接には決してやらない。申込を受けたブローカーは組合員間を持ち廻つて、五ポンド十ポンドと小額づゝ契約をとつて歩く、で危險の分散が殆んど完全に行はれるので、どんな危險率の多い保險でも煙草一本吸ふ暇にチヤンと片付く、この點がロイド最大の特質である。

◇——ロイド組合がその營業所をローヤル・エクスチエンヂ內に移したのは一七四四年、それ以來つい先年まで前後二百年間、よくも變遷しい店借り生活を續けて來たものだが、兩三年來起上中であつたレドンホール街の新ビルヂングが出來上り、本年(一九二八年)三月の落成式には賢くも兩陛下の行幸啓をさへ賜つた。この嚴格の光榮こそは過去二百年ロイド繁昌史の表象であり、やがて多幸なるべきその前途への比類なき光明であらう。

◇——寫眞はロイド・ビルヂング

香港上海銀行

◇——香港上海銀行は略して香上銀行と呼び、支那では滙豐銀行といふ特別な名稱を用ひてゐる。

◇——その設立は一八六七年、今でこそ支那におけるイギリスの經濟的侵略の機關となり、利權あさりの本尊と目されてはゐるが、何も始めからそんな目的を以て設けられたものではない。その證據には、同銀行の設立は國際的合辨の形式により、英國の怡和洋行、ドイツのジームセン、米國のラスランド等がこれに參加してゐる。それが圖らずも內部の利害衝突によつて分裂し、その結果全權が英人の手に落ちるに至つたに過ぎぬ。

◇——凡そ海外發展の前線に立つもの、或る國に在ては軍艦であり、或る國においては冒險家であり、一攫千金を夢みる投機者である。そしてまたどこかの特殊國では資本家であるとさへいはれてゐるが、英國の場合には、例外もあるが、多くは大體にして細心なる實業家と、その手に運用さるゝ巨額の資本であつた。

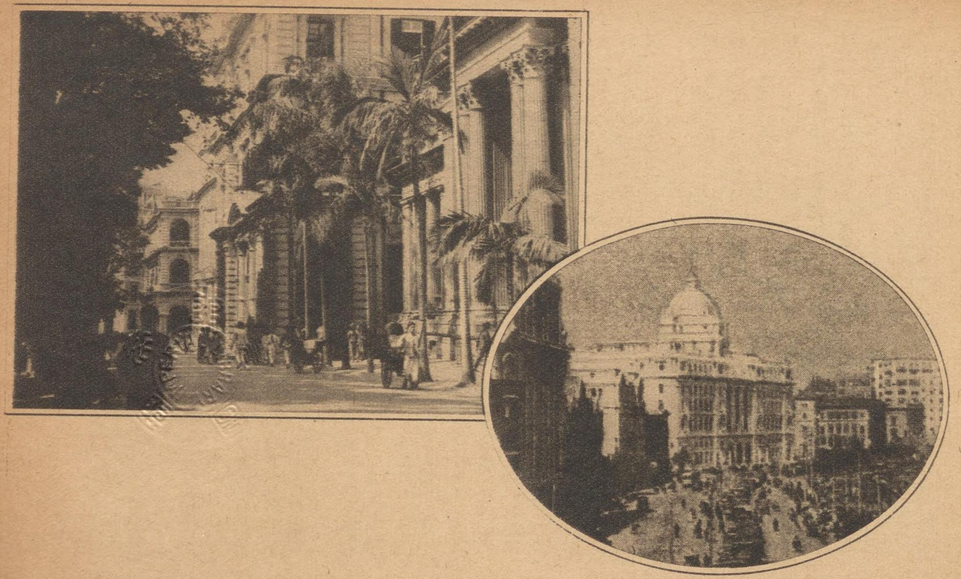
◇——南京條約後三十年、列國の利權獲得競爭が漸く表面に現はれ來つた當時の支那において、滙豐銀行の如き有力なる金融機關が、既に英人の專行經營に歸した以上、それが直ちに利權運動の道具となつたのもまたやむを得ぬ勢である。

◇——それ以來、英國が中南支において獲得したあらゆる鐵道敷設權に對する融通、支那鐵道借款の引受、鐵道材料の買込、建設前に修理の一切工事請負等は、悉く滙豐銀行の手によつて行はれ、更に政治借款に至つては遠く一八七四年の六十萬金鎊借款より、近くは一九一二年二千五百萬金鎊の借款に至るまで、前後十數回幾千萬の資金が、その手を通して軍閥の支那へ注ぎ込まれたものだ。

◇——だがやせても枯れても滙豐銀行、銀行本來の使命を忘れて、年が年中支那の利權あさりに浮身をやつしてゐたなど、思つては貰ふまい、香港における香上銀行本店は、拂込資本金二千萬弗、兌換券流通高五千萬弗に上り支那、印度、シヤム、馬來、日本等、東洋各地はいふに及ばず、ロンドンをはじめ殆んど全世界に散在する支店代理店を統べ、東西兩洋の經濟的結合に資する所極少でない。

◇——利權回復、英日貨抵制を一枚看板とする新支那の指導者達が、滙豐銀行を目の仇にして兌換の要求、預金の取付等を計畫することも屢々だが、四六時中軍閥と土匪の脅威を感じつゝある財產の寄託所として支那人自身の信用、滙豐銀行に過ぐるものはないのだから皮肉である。

◇



寫眞は香港の香港上海銀行本店（上）と上海支店（下）

(104)

人絹興隆時代

◇——地質や氣候によつて條件つけられてゐるいはゆる特產物の地位はなか〳〵に搖がぬもので、歐米の產業界が並立ちしたつて、天然絹絲の生產における我國の絕對優越には指一本差させることではないと力んでゐるが、たゞ代用品といふ奴がこいつ少々厄介で、大抵は地質や氣候などにはお構ひなし、技術と資本次第で無盡藏に造り出されやうとある。

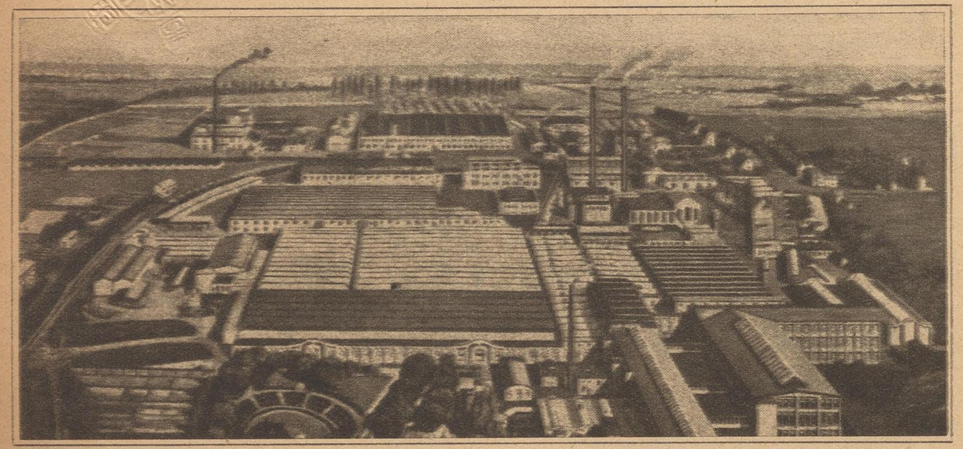
◇——實にや、過去三十年間、人造絹絲の素晴しい進步發達は、二十世紀における新興工業の典型で、殊にこの國にとつては、永年築き上げた生絲王國の安泰を脅すものとして氣味の惡い存在ではあるが、少くとも現在では人絹と天絹とは大した喧嘩にもならず、人絹はその個有の特徵によつて別に獨自の市場を開拓すべきものとタカをくゝつてはゐるもの……さて世界の人絹業は？

◇——昨一九二七年度における人絹の世界總產額は二億六千五百萬封度、既に天然絹絲のそれを遙かに超えた計算である、しかも時は今、正に興隆時代、人絹はまだ靑春期にある、この後二億封度の生產が三億になるか四億で止むか、世界の山々に原料木材の盡きぬ間は、人絹王國の版圖はますます擴大すべしと見て、

◇——まづアメリカではヴイスコース、インダストリアル・レーヨン、セラニーズの諸會社、英國でコートルヅ、ドイツではグランツストフ、何れも精巧の技術を誇り、巨額の資本を擁する國際人絹戰の一流戰士。

◇——わけてドイツのグランツストフ人絹會社、有名なマツクス・ミユラー博士のヴイスコース處理法特許の保持者として、久しく業界に君臨したもの、やがてこの特許は方々で裁判沙汰を引き起しながら各國に傳はつて行つたが、その草分として今もなほ年產額一千五百萬封度、實にドイツ總產額の六、七割を占め、天晴一方の旗頭振りよろしく、英、米、佛の諸會社と相排し相結び、國際人絹界の逐鹿に餘念もない。顧みて憂ふ、わが當業者中、この國際工業戰裡に馳驅して、翩翻の旗幟を揭ぐるの用意果して如何？

◇——寫眞はグランツストフ人絹會社オーベルブルーフ工場



南阿スタンダード銀行

◇——南阿は憲法の寶庫である、年に四千萬磅の黄金の卵を生みなから、千萬磅のダイヤモンドの糞をする、インドとともに英國のドル箱だ。七十年前の南阿といへば英本國から船でザッと四十日、電信は通ぜず、郵便一通に一シリングもかゝらうといふ、海岸から何マイルかはかすかながら事情も判るが、それより内地は文字通りの暗黒大陸、勿論黄金の卵はまだ生まなんだ。

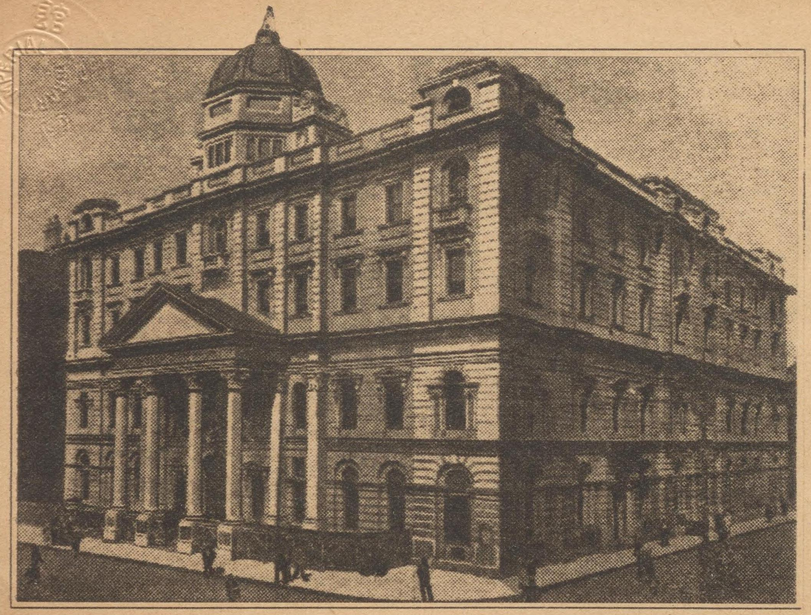
◇——それが今日はスッカリ新進の文明國になりすまし、鐵道の延長一萬五千マイル、金とダイヤを除いても羊毛や農産物で輸出年額三千萬磅、輸入もこれに伴ふ一大經濟地域である、當時ヨチ〳〵の癖せ書鳥、今は自治領の牛耳をとり英帝國會議などでも頻りに我鳴り立てゝゐる。

◇——スタンダード銀行はこの南阿における第一流のしかも最古の銀行で、設立は一八六二年、本店こそロンドンにあるが舞台はやはり南阿であり、更に東阿でもある、珍らしい支店の好きな銀行で支店增設を以て唯一の發展策とし、現在の支店數は無慮三百數十、これが悉く增設の結果で、合併の記錄としては後にも先にも一九二〇年のアフリカ銀行合併だけである、しかもこの支店膨脹主義も最近どうやら行詰り模様で、このごろの不景氣に引合はぬ店が續出し、近い中に閉店するはずのものもあるといふ。

◇——以前は分擔券發行權を有し一時は四百萬ポンド位の流通があつたが一九二〇年の銀行法により、聯邦内の發券權が新設の準備銀行に集中せられて以來、スタンダード銀行券は聯邦外に約五十萬磅足らずの流通を見るに過ぎぬ。

◇——一九二二年ごろは五十萬磅以上の利益を擧げてゐたのに、引續く三年は成績著しく振はず、三十萬磅台に下つたこともあるが、一九二六年度には一躍五十七萬磅の利益を見たとて喜んだ重役氏、直ちに一割四分の通常配當に、二分半の特配をつけたとは、東西軌を異にせざるもの、それ事業家の配當慾か。

◇——寫眞はケイプタウンの南阿スタンダード銀行



(106)

ゼネラル・エレクトリック

◇——サン・ランプでお馴染みの米國は紐育なるゼネラル・エレクトリック會社、俗にジー・イーと稱してゐるがその工場は總坪數六百二十萬坪、床面坪數七萬坪、從業人員七萬六千人といへば、工場面積の大きさと職工の多いことでは確に世界一を誇るに足る。製品も、大は五萬馬力のタービンから小は電球附屬品まで、世界電氣技術の發達は即ち我社の歷史に外ならぬと嘯いてゐる、一九二六年度の考課狀によれば、固定資產の總額が一億九千二百萬弗、傍系事業に對する投資が千百四十七萬弗、有價證券が千三百十六萬弗、その他二百五十六萬弗で、一ヶ年の製品販賣高三億二千七百萬弗、この利益金三千七百十萬弗、雜收入千二百六十萬弗であるが、株主配當は一割一分に止め一億三百十三萬弗を後期に繰越してゐるばかりか、一億九千二百萬弗の固定資產に對して既に一億四千百五十一萬弗といふ巨額の減價償却積立金を有してゐる、蓋配當常習の我電氣業者の見て以て垂涎措く能はざるところであらう。

◇——寫眞はスキネクタデイのゼネラル・エレクトリック本社

(107) 馬來の錫

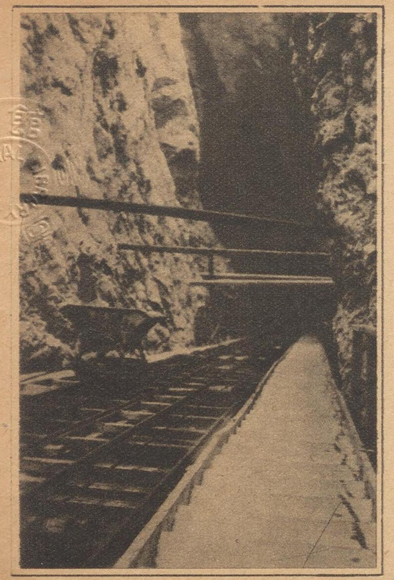
◇——錫はゴムと共に馬來の主要物産である。一九二七年度における馬來聯邦の錫産額は五萬二千トンで、世界總錫産額十五萬二千餘トンの三割以上に當る。馬來以外の錫産國としては蘭領印度の三萬五千トン、ボリビヤの三萬三千トン、術は遙ふがシヤム、ビルマ、ニゼリア等であり、錫鑛の製煉能力からいへば海峽植民地の九萬八千トンが第一で、英國九萬二千屯、蘭領印度二萬五千屯、米國二萬屯の順序である。

◇——元來錫といふものはさう廣い用途をもつてゐるわけではなく、世界の錫總需要は歐洲戰前の一九一三年において總生産額（約十三萬屯であつたの丁度半分ぐらゐ、一九二五年にやつと三分の二に達したと喜んだものだが、その後僅か二三年の中に驚力工業の劃期的發達があり、錫の需要も遂にその生産に追ひついてしまつた。

◇——そこで今度は錫の値段が騰つて來た。一九二六年のロンドン平均相場二八四磅は一九二一年のそれに比し二倍以上の騰貴である。次いでこの錫價の昂騰はその生産に對して新しい刺戟を與へた、馬來でも新式探鑛法が段々と改良されて、さきに採鑛石探掘（二〇四參照）に就て說明した水壓ポンプによる最新式探鑛法も廣く利用されるやうになつた。

◇——尤も最近アルミニウムが錫の繼張を蠶食して來たことや、新塗料の發明で鍍金用錫の需要が減じたことなどが、探鑛法改良による錫産額の增加と相俟つて、却つて再び錫相場を大分弱めたやうであるが、しかも錫需給の將來は、これらの事實によつて直ちに斷出來るほど簡單ではないやうである。

◇——寫眞は錫鑛山の坑口（左）と水壓ポンプによる探鑛（右）——馬來



物價編定委員會

◇――ワシントン會議の約束によつて、一九二六年の十月、北京に開かれた支那關稅會議は、翌年七月に至る滿八ヶ月の間「關稅自主承認」がどうしたとか「差等稅率」がかうしたとか、生木を燃す樣にブス〳〵煙り續けてゐたが、どどのつまりは、表面はとにかく腹の底では「臭いものには蓋をして」おきたい列國委員、お國柄珍しくもない內亂をきつかけにサツサと會議中止の幕を下して引上げたものだ。

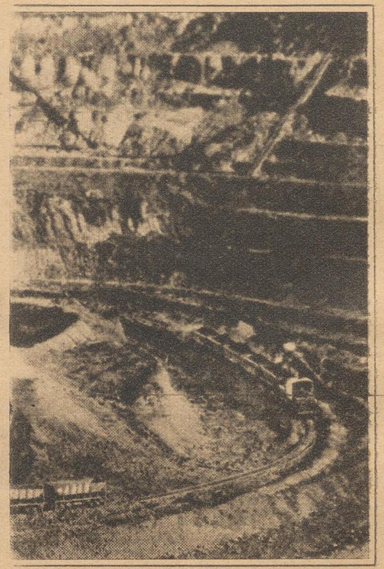
◇――過去數十年にわたる支那關稅問題の中心は最近起つた關稅自主、關稅行政權回復等を外にしては常に現實五分稅改訂問題であつた、支那が徵收を許されてゐる關稅は一八四二年の南京條約以來五分であるが、同じ五分といつても物價には騰落がある、この物價の高低に伴なつて稅率を上下しなければ現實に五分とはならぬ、

◇――然らば、その稅率の標準たる物價は何によるのが最も合理的であるか支那と列國との利害の衝突はこの點にある。支那としては成るべく物價の高い期間を標準にしたいと、これはいふのが當然だが、列國としてはさうはゆかぬ。で、結局デツチ上げられたのが物價編定委員會で、課稅標準たるべき物價の調査決定に關して、各國委員が黃白とり〳〵の額を集める次第である。

◇――殊に、日本としては粗製品を主とする對支貿易において、如何にして歐米の精製品組と相對して有利の地步を占めて行くかは、標準物價の點において、或は又貨物分類の上において非常に頭を惱ましてゐる問題で、寫眞に見る昨一九二七年十二月一日北京に開かれた委員會でも、我が橫竹委員は特にこの點を强調したと傳へられる。

◇――關稅會議中絕以來、光陰流水に似てこゝに一年有半、その肝心の關稅會議さへ內外の記憶から大方は消へ去つた頃、物價編定委員會のみは、上海に北京に、絕えなんとして絕えざる命脈を續けてゐるが、何しろ御本尊があの有樣だ、折角の物價委員の調査や研究も、お役に立つ日があるやらないやら。

◇　寫眞は同委員會第二會議、向つて左端原稿を朗讀せるは支那委員陳氏中央編服は橫竹日本委員



ザンジバルの丁子

◇――ザンジバルと申したところで、日本人には餘り聞き馴れぬ名であるが、世界地圖を開いて見ると、アフリカ大陸の東部、印度洋岸、英國委任統治地タンガニカの首府ダレサラムのあたりに、恰も大牛の脊にとまつた小島のやうな二つの小島、これが英領ザンジバル保護國である。

◇――も少し詳しくいふと、大きい方の島はザンジバル島(面積二八〇平方哩)で、共に名目上アラビア人の回教王(サルタン)の治下に屬し、英國の保護を受けてゐる。首府ザンジバルは中世紀以來アラビア人が占據して、東アフリカに覇を唱へ、アラビア文化の普及、仲繼貿易の經營に勞めたところ、殊に五世に入つては、歐米に輸出されたアフリカ黑坊奴隷の取引市場として、變テコな意味で世界經濟(?)の舞台に名を得たものだ。

◇――しかるにその後各國ともに奴隷の賣買を禁止し、しかも多年暗黑に閉ざされた東アフリカ地方も、それ〳〵世界列強の所屬に歸して、此等の國々の新しい有望な植民地と化してからは、小島ザンジバルの經濟的レーゾン・デートルの大半は失はれてしまつたものゝやうであるが、それでもなほこの小島が國際經濟の一角に名をとゞめてゐるのは、それが丁子(クローヴ)の供給地として今までのところ殆ど獨占的地位を占めてゐたからである。

◇――丁子とは丁子樹の蕾を乾したもの、香料の原料に用ひられる。物の書によるとザンジバルの丁子栽培は一八一八年、レユニオン島から移植したにはじまり、現在ではザンジバル、ペンバ兩島到る處に行はれ、一九二四年度の統計では、兩島に於ける丁子樹植付反別は前者一萬六千エーカー、後者三萬二千エーカー、樹數兩島を併せて約三百五十萬本、その內樹齡百年に達するものも少くないといふ。その丁子の產額は世界全需要額の九割に達し、主要輸出先は印度、英本國、佛、獨諸國で、人口僅かに二十萬人のこの兩島が、年々丁子及び丁子油の對外輸出で八十五萬磅(約八百五十萬圓)を得てゐるといふから素敵らしいものだ。

◇――併し近來遙か南方のマダガスカル島が丁子樹の栽培を始め出し、漸くザンジバルに對して一敵國を形成しつゝある一方、ザンジバルそれ自身でも、栽培者たるアラビヤ人及びアフリカ土人の昔ながらの無智、勞働者の不足と資金調達の困難等、次第に斯業の行詰りを感じて來たといふことである。永く東アフリカの仲繼貿易、世界の中心奴隷市場として榮え、丁子の獨占的供給地として繁昌したザンジバルもいつまで國際經濟の舞台に殘り得ることか。

◇――寫眞はザンジバル港の街(上)と丁子樹のプランテーション(下)

[illegible]の旗頭であることから[illegible]ても、生づこの[illegible]ヨーク[illegible]銀[illegible]

意味でアメリカ全體の銀行を代表する中央銀行であるとも[illegible]やう。一九二八年の三月二十八日現在の同行の金保有高は九億三千八百萬弗、再割手形一億五千萬弗、兌換券流通高三億四千萬弗である。

◇――準備銀行制度は一九一三年に始めたもので、實施後日もなほ淺いし、元來が地方分權的な米國特有の國情から生れたものだから、何處の國でも成功するといふ譯のものではあるまいが、とにかく米國では歐洲戰中戰後の試練時代を經てこの制度は、今や世界に誇るべき金融組織の新典型としてその存在を確認されたかに見える。米國財界今日の盛況もこの制度が與つて力ありといふ人があるが、必ずしも誤つた見解ではあるまい。

◇――寫眞は紐育聯邦準備銀行

(112) 首のすげ替へ

◇——昨一九二七年九月、シカゴ準備銀行の割引率引下問題にからんだ聯邦準備局總裁の代替りは、順調好況にだるんだ米國財界の末梢神經をピリッとさせた以外に種々な意味からいつて「經濟天國」近來の好話題であつた。

◇——當時金利十二の聯邦準備銀行は三ケ年の久しきにわたつて一律四分の割引率を維持してゐたが、一九二七年七月末から九月初めにかけて、相前後してこれを三分五厘に引下げた、といふと立派に聞えるが實は兩三年來かつてなき金融の緩慢さに驚いた聯邦準備局が、慾張大いに勉めた結果で、各行とも不承々々長いものに卷かれたといふのが眞相らしい。

◇——ところがこゝにその總本山準備局の御達しを馬耳東風と默殺して、依然四分と大きく構へた橫道者が、ミネアポリスと桑港の兩準備銀行、卷かれては見たが拉致入も不見識で、「準備局が割引率の變更を强制するのは準備條令に違反する越權行爲だ」と突つ張つて見たのがシカゴ準備銀行だ。元來あれだけの廣さを有するアメリカのこと、東部と西部、中央と地方との間には種々利害の衝突がある、感情問題もあれば政治的地盤の關係もある、ニューヨーク中心の金融制度が非難されてゐるのは準備制度制定以前からのことだ、シカゴの突張りもニューヨークへの面當てに外ならぬ。

◇——がこの突張りが案外きいて、スヅタモンダの末九月二十一日、D・R・クリシンガーは準備銀行總裁の椅子を投げ出し、後任はミネアポリス準備銀行頭取R・A・ヤングに決つた、彼は本年四十五歲、ミシガン地方の銀行を廻つた末、一九一七年ミネアポリス銀行に入り、翌々年には既に頭取の地位を得た程のきれ者。

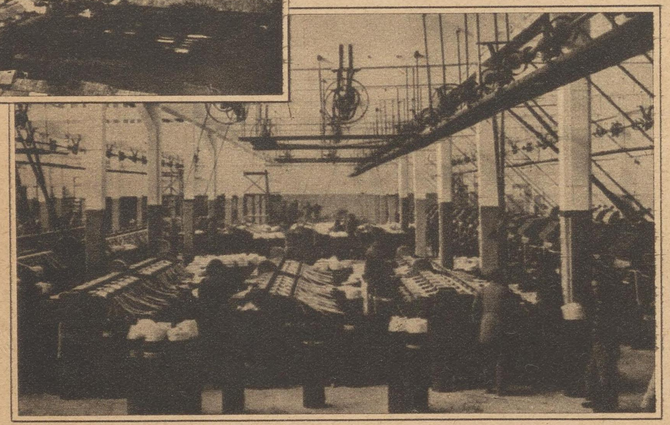
◇——殊にはミネアポリス準備銀行が、最後まで割引率四分を維持してゐた橫道組の張本である點など、隨分皮肉で、ヤングの總裁就任を以て、東部に對する中部西部の勝利と見る向もある。

◇——寫眞は(左)前總裁クリシンガー氏、(右)ヤング氏

(114) 漢口の泰安紡績

◇——紡績業者の對支投資は上海（約一億八千萬圓）を以て第一位とし、お次が青島（約四千三百萬圓）で漢口（約五百萬圓）と天津（約六百萬圓）とは投資金額に至つてはズット下るが、事業として氣を吐く點は同一である、殊に漢口の泰安紡は支那奥地唯一の邦人紡で、大正十三年九月の創立、漢口磯口外宗關上首にあつて資本金五百萬圓、二千八百名（女工二千名、男工八百名）の支那人職工が二萬四千錘の紡機と三百台の織機をめぐつてふんだんに働いたものだが、一九二六年秋、國民軍の武漢侵入以來、政府の分合、北伐のゴタ〳〵で、工場管理の要求がたび出したりして致命的の打撃を受け、久しく無期休業の狀態を續けて來たが、南京政府の基礎や、定まり、長江筋の秩序も漸く回復した昨年末、工場再開の運びとなり現在は從來通り平和に操業を續けてゐる。

◇——寫眞は泰安紡績の全景と工場內部



はしない、その上、ハンブルグは自由港である、荷物の積込、艀卸し保管の設備に缺くる所は勿論ない、しかも水路による奥地行の荷物は本船から直接に河川用の汽船に移さるゝ場合が多いといふ。

◇ これ等埠頭、棧橋その他設備の管理權は勿論政府の手にあるが、チットモ御役所風でなく、全然私經濟的經營法によつてゐると、さも自慢らしく說明されてゐる。

◇ 寫眞はハンブルグの埠頭

英國の五大銀行（一）

◇——日本でも最近、特に昭和二年の金融恐慌以來、資金の大銀行集中の傾向が著しくなつた結果、一流銀行の輪廓が明瞭になり、五大銀行なる言葉が屢々用ひられる樣になつた。三井、三菱、安田、住友、第一の五銀行を意味するんださうだ。

◇——ところで英國のいはゆる「ビッグ・ファイヴ」になると、五大銀行の本家本元だけに一段と柄が大きく、その内容は（一九二七年末現在、單位千ポンド）

	資本金	預金	總資産
バークレイズ	一五、八五八	三一七、八二一	三五七、三二三
ロイヅ	一五、八一〇	三五七、一八九	四二八、二四〇
ミッドランド	一二、六六五	三七四、三七五	四三八、四五二
ブロヴインシアル	九、四七九	二七三、五九七	三〇五、四四四
ウエストミンスター	九、三二〇	二八〇、六一二	三一三、〇九二

ボンドは圓の約十倍だといふことを忘れないやう、且つ總資金が何れも殆んど資本金と同額に達してゐる點を注意すれば「ビッグ・ファイヴ」の巨大さと健實さについての判斷を誤る虞れはあるまい。

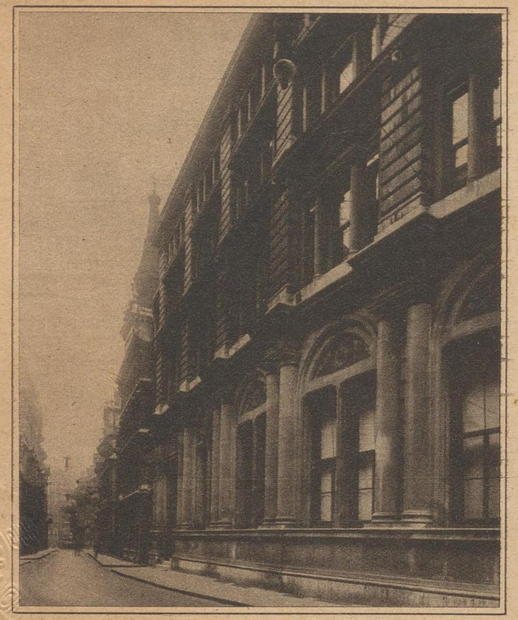
◇——一八六二年の會社法（始めて有限責任の株式組織を認めたもの）が出來た當時、英國にも一時銀行濫設の時代があり、こゝ、かしこの田舍町にまで、高利貸され、幸ひ殘つたものも健實な銀行に合併し整理する程しかない。

◇——「ビッグ・ファイヴ」なども永年にわたるこの合併の結果今日の大を致したもの、その合併數、バークレイズが四十一行、ロイヅの如きは五十三行に及んでゐる。而もこれ等の被合併銀行自身また合同によつて出來たものが多いので、先の先まで數へ立てると驚分な數に上らうといふ。

◇——バークレイズ銀行

そもそもの發端を尋ぬれば一八四〇—五〇年ごろロンドン手形交換所を構成してゐた二十五銀行の一つであつたバークレイ・ビーヴアン・トリットン商會に出來するといふからかなり古いものだが、株式組織としてのバークレイズ銀行の歴史は、精々こゝ三十年あまりに過ぎない。從つて合併による膨脹策も、「ビッグ・ファイヴ」の他の四行に比してやゝ立後れの氣味があつたが、現在その間に立交つて大した遜色のない成績を擧げてゐるのは主としてその特色たる地方分權制——地方大支店に比較的廣汎な權限を認めた獨特なる組織の力であるといふ。海外殊にアフリカ、西印度あたりとの關係も密接だ、フランスにも同名の手銀行がある。

◇——寫眞はロンドン、ロンバード街のバークレイズ銀行本店



英國の五大銀行（二）

◇——ロイヅ銀行　ロイヅ銀行なる現在の名稱は一八九九年に定まつたもので、それ以前はロイヅ・バーネツ・エンド・ボザンケツ銀行、その又前身はバーミンガムのロイヅ商會である。ロイヅの合併事業は二八六五年ごろから始つた。一八八〇年以後の二十年間はこの合併熱の最高潮に達した時代で、一九〇〇年の如きは一年に六個からの銀行を吸收したさうだ。こんな風で國内の仕事が比較的早く一段落ついたので、大戰前既に海外に目を轉ずる餘裕を得、一九一一年のパリ、アームストロング商會（今のロイヅ・アンド・ナショナル・プロヴインシアル外國銀行）の買收から、一九二三、五年にかけてのコックス商會買收によるエヂプト進出まで戰中戰後を通じての活動は、イタリー、南米諸國、印度、アフリカ、ニユージーランドと、目星しい地方を片ツ端からその巨手に捲き込んでしまつた。

◇——ミツドランド銀行　ミツドランド銀行もバーミンガムに生れた、一八六二年の會社法發布直後のことで、個人組織から成長した諸銀行と違つて生粹の株式銀行だ。バーミンガム・ミツドランド銀行の名で久しく中部及び北部イングランドに經營の主力を注ぎ、一八九二年、セントラル・バンク・オヴ・ロンドンの買收によつて倫敦に支店が出來、名をロンドン・アンド・ミツドランド銀行と改めて後も、かつてこの方針を變へなかつたが、一九一八年、ロンドン・ジョイント・ストック銀行を手に入れてから、[illegible]

(118)

英國の五大銀行（三）

◇――**ナシヨナル・プロヴインシアル銀行**　夢風瘠土に剛健の氣を惠まれた北方民族は、やがて南下して南國の既成文化を征服すると、これは歴史上の原則の一つださうだ。尤も支那では南方國民軍が馬鹿に景氣よく、北京を取り天津を奪ひ、北軍を東三省に追ひつめたところ（一九二八年六月）、この原則の普遍性も少々怪しいが、そこは萬事理窟が理窟にならぬ支那のことゝ大目に見て貰ふとして、少くとも英國の銀行發達史においては、この原則の權威をそのまゝ認めても大して差支へないやうだ、ナシヨナル・プロヴインシアル銀行もやつぱり、中部及び北部イングランドの工業都市を搖籃に成長した。そしてこの北國時代八十五年間に一億一千二百萬㌻の預金と、七百八十九個の支店とに、搖がぬ基礎を確立しておいて、やがて一九一八年急遽ロンドンに南下してユニオン・オヴ・ロンドン・アンド・スミス銀行を併せ、ビショップスゲイトにドッカリと尻を据ゑた。ミッドランド銀行とよく似た筋書、ロンドン入りの年まで同じなのも面白い。

◇――**ウエストミンスター銀行**　最後にウエストミンスター銀行だがこれはいはゞ倫敦ッ子である。ロンドン・アンド・ウエストミンスター銀行に、ロンドン・アンド・カウンチー銀行といふ双兒の樣な名をもつた二つの銀行が、一九〇九年に合同して新銀行を造り上げた、その營業區域は主としてロンドンとその近郊であつたが、一九一七年になつて北部地方へ發展の必要上、當時ウオーリングトンにあつてこの地方に廣い地盤をもつてゐたパール銀行を買收し、その結果出來たのがロンドン・カウンチー・ウエストミンスター・アンド・パール銀行、すなはち今のウエストミンスター銀行で、支那と同じく歴史原則の無視組だが、原則あれば例外あり、それもまづよいとして、氣になるのは「ビッグ・フアイヴ」中、他の四行の預金が相も變らず毎年順調な增加を示してゐるにも拘らず、ウエストミンスターの預金ばかりは、一九二七年末において、五百萬㌻足らずの減少になつてゐることで、「ビッグ・フアイヴ」の名譽のためにも、一層の努力を希望せざるを得ない。

◇――寫眞はロンドン、ビショップスゲイトのナシヨナル・プロヴインシアル銀行本店（上）とロースベリ街のウエストミンスター銀行本店（下）

(119)

ニューヨークの長者街

◇――他人の懐具合を勘定したつて腹のタシにもならないが、他愛もない春の茶ばなしと、マア聞いて戴き度い。

◇――世界の金貨を以て誇る米國に、百萬長者、言葉通りに百萬弗以上の財産を有つたものが一體どの位ゐるかといふとほゞ一萬五千人位、でかうザラにあつては「長者」の權威を損することおびたゞしいといふので、今度は標準を變へて毎年百萬弗以上の所得をポケットにねぢ込むものが幾人あるかと詮議して見ると（一九二六年）

△百萬弗―二百萬弗一五八人△二百萬弗―三百萬弗　三三人△三百萬弗―四百萬弗　一四人△四百萬弗―五百萬弗　九人△五百萬弗以上　一四人

この數〆て二百二十八人、さすがに目覺しいものではある。

◇――一八一五年ニューヨークで長者と稱せられたもの四人、しかもその所有財産は二十萬弗に過ぎなかつたが、一八五五年には「百萬長者」が二十七人、現在ではそれが約三四千に增加してゐる。そしてこの連中大部分の巣窟といふのがいはゆるニューヨークの長者街パーク・アヴエニユである。

◇――「弗」の光に眩んだ狂亂の都ニューヨーク、その喧騷の街々をよそにして、こゝパーク・アヴエニユばかりは電車も走らず、乘合自動車も通らず物靜かな舗道の兩側に立並ぶ廣壯な摩天樓アパートメントは年收何十萬何百萬といふ實業界の大頭株、成金、親代々の丸持などに占められ、その家賃は一室年千五百弗内外が普通で、それ以上は際限がない、翡翠と黄金で飾つた湯殿一室の間代が年三萬五千弗などゝいふ

◇――ベラボーな話はやめにして、この長者町三千の丸持家族が一年間に費す家賃家具代五千八百萬㌦、自動車代千六百萬㌦、女の着物代が八千五百萬㌦、その化粧台四代八百萬㌦、お芝居見物費五百萬㌦と誰が計算したか知らないが、ひま人もあつたもの、茶ばなしにしてもチト馬鹿らしさが過ぎやう。

◇――寫眞は長者街パーク・アヴエニユ

(120)

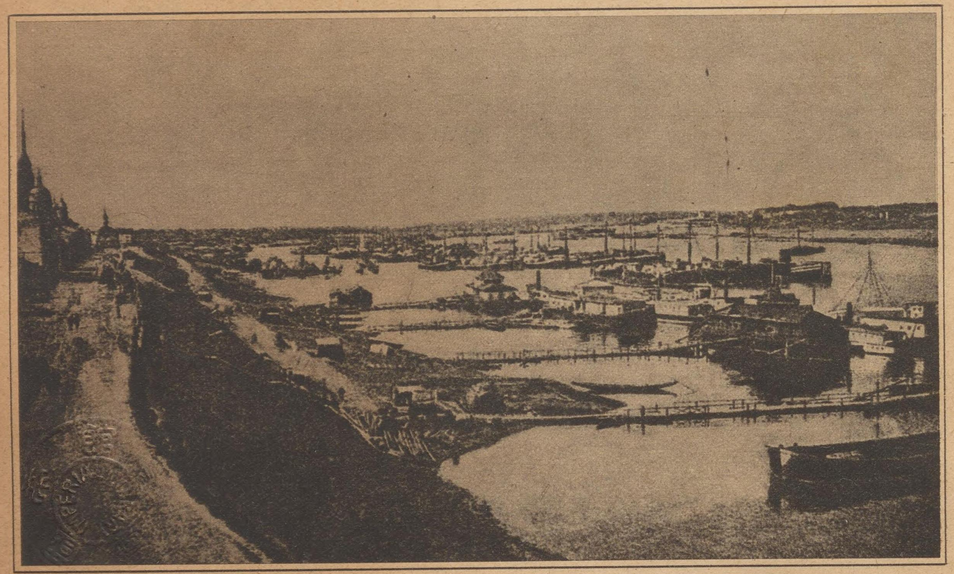
ヴオルガ河

◇——『われ等の母』ニロシヤ人に懐かしまれるヴオルガ河は、民謡や傳說や物語りに豐かなばかりではない、これこそは經濟ロシヤの大動脈、歐露の西北から東南にかけて蜿蜒三千五百キロメートルを廣々と滑らかにゆるやかに、流れ來り流れ去る間、東西から流入する大小幾多の支流を合せて、沃土黑地帶を過ぎてカスピー海に注ぎ入るまで、ロシヤの人と土とに與ふるヴオルガの愛しみは正に「われらの母」のそれである。

◇——わけて春の航海季節のヴオルガに、穀物、木材、石油、各種製造品を滿積したあらん限りの大小船舶が出揃つて交錯する樣は蓋し壯觀である。沿岸にはルイビンスク、ニジニ・ノヴゴロド、サラトフ、アストラカン等の大きな都市が、直接にはヴオルガの水に養はれ、更には鐵道の連絡に助けられて何れ劣らぬ繁榮を競ふ。

◇——戰前の一九一三年度のロシヤ全河川の總輸送貨物は約三十億プードであつて、その半分十五億プードがヴオルガに於ける輸送であつて事實からみてもその絕大な効用が分からう。しかし大戰の結果交通及び生產機關の破壞によつて一九一九年度の如きは一億七千二百萬プードに減つてゐたが、經濟狀態の恢復とともに、近年はその輸送貨物も漸次增加し戰前の約八割に達してゐる。

◇——寫眞はルイビンスク市の埠頭場におけるヴオルガ河上の穀物商船隊



カニ工船

◇――一時そこらの店先でしきりに見かけた『三つ一圓』のカニ罐詰、宣傳のきゝめがあつたかどうかは聞いても見ないが、相も變らず限産協議でゴタ〳〵やつてゐる所を見ると大した効果もなかつたらしい。何れにしてもこの蟹罐詰なるしろもの、總産額の九割何分、三十二萬函箱中三十萬箱まで輸出し盡され、内地消費はあとの二萬いくらに過ぎないのだから、内地賣行の些少な増減などはとるに足らぬといふもの、

◇――さてその輸出三十萬箱の大部分、七割ばかりが米國へゆく、米國人はよほど蟹が好物だと見えてドイツからも輸入がある、併しこれはほんのチヨツピリ、前大統領ハーヂングは蟹を食つて死んだといふが、これはアラスカの蟹で、日本の蟹ではなかつた。次のお得意が英國への一割七分、殘りの一割三分が歐洲大陸、この高〆めて約千五百萬圓とある。

◇――蟹漁業の本場は露領カムチヤツカの兩岸一帶、それも主として西海岸に多く、現在二、三千トン級の蟹工船十六隻で漁獲に從事し、東海岸には五隻を配することになつてゐる。蟹漁獲のシーズンは毎年三月から八月までの六ケ月間で、一隻の工船の乘組員は船長、機關長以下幼年女工に至るまで大凡二百人から二百三四十人。

◇――春とも見えぬ極北の海をぬうて底深く網を垂直に下して行く、網を傳つて上つて來た獲物が足をとられてうごめくところをエッサ〳〵と甲板に引上げ、蒸して船上で甲羅をとつて、かねて用意の罐詰鑵に手際よく早く詰

(122)

米材とその輸出

◇——世に米材(米國材)と稱せらるゝもの、大部分は北太平洋岸、コースト・レインヂ(海岸山脈)西部の産材で、主なる材種はパイン、ファー、シダー、ヘムロック等、ワシントン、オレゴン、ブリティッシュ・コロンビヤの三州はその主産地である。一九二七年中この太平洋岸からの木材積出總額は、約四千八百八十五萬石、內輸出が千九百五十萬石で、殘り二千九百三十五萬石の移出先は、同國大西洋岸、カリフォルニアを始め、アラスカ、布哇、比律賓と廣く各領土にわたる。

◇——日本向け積出額は約一千萬石、千八百萬圓、總輸出額の半ば以上で、次は遙かに下つて歐洲の三百萬石、歐洲、支那、南米等、何れも百五十萬石以當に過ぎない。

◇——ところでこの米材の供給は果して何時まで續くものか、正確なことは勿論誰にも判らない。併し遲くとも三四十年後には、その伐採は海岸から百マイルぐらひ入り込まざるを得ぬ計算で、運送關係から相場の上にも、從つてまた需給の上にも相當の變化は免れまいと、その道の人は見當をつけてゐる。

◇——寫眞左は伐採地における木材搬出、右は同水路輸送で、從來は百マイル以上の距離になると、必ず汽船による外道がなかつたが、寫眞に見る樣な筏繫縛法が完成されて以來、數百マイルの遠くまで現航輸送を行ふことが出來る樣になつた。最も大きな筏になると長さ八百尺、容積四、五萬石九千トン型汽船一隻分の積載量に相當するものがある。

(128)

伯林の電車

◇——東京には地下鐵道が出來たし、大阪でもやがて地下高架併用の高速度電車が出現しようといふ今日、伯林の電車といつても格別珍らしいことはない。たゞ無暗に停電したり脫線したり時には衝突までやらかして大事な乘客を極樂へ送り込んだりしないだけだ。

◇——まづ第一が普通の市街電車でスタットバーン、次に東京の省線電車にあたるリング・バーン、それから大阪で眞似しやうといふ高架地下電車（地下電鐵が場所によつて高架となる）、この三つが「伯林の電車」の內譯で、大ベルリンの交通動脈、交通網のかなめ線である。

◇——寫眞はノルレンドルフ・プラッツの地下線から高架線となつたところ

昭和三年十月十日印刷
昭和三年十月十五日發行

【定價金壹圓】

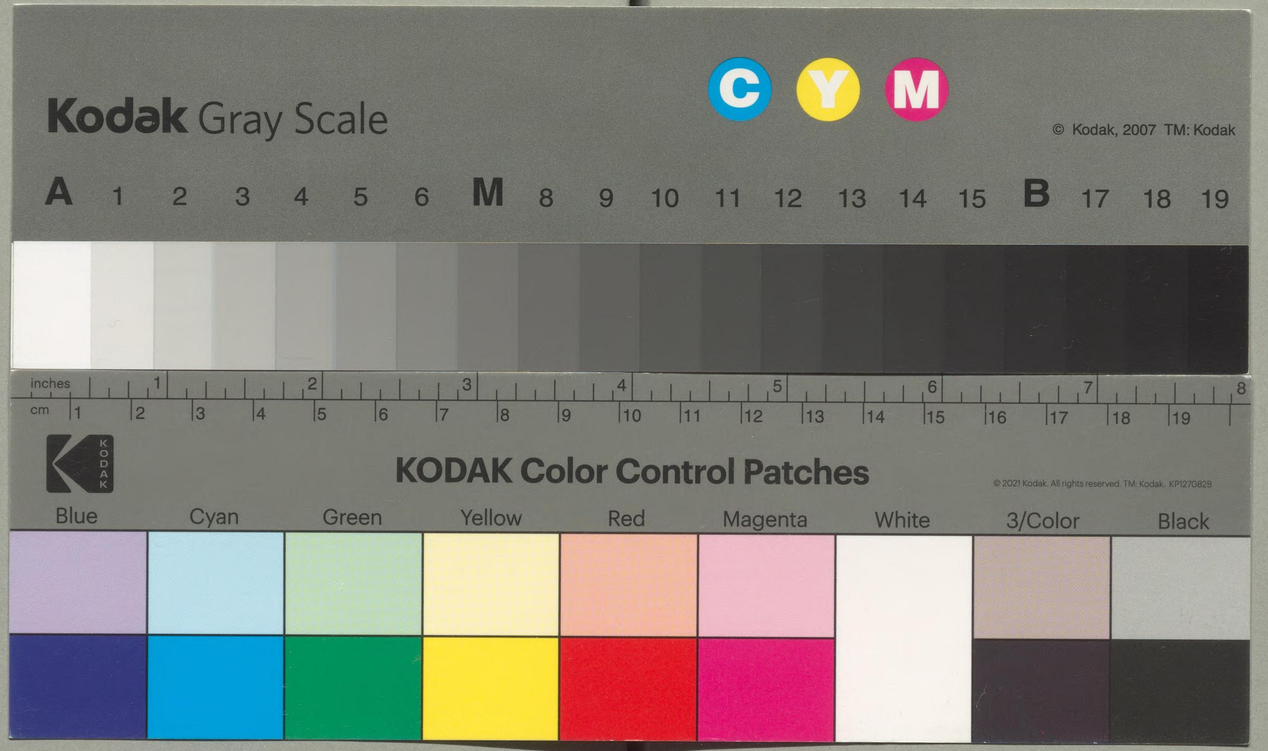
不許複製

著作發行兼印刷者　鎌田敬四郎
大阪市北區中之島三丁目三番地

印刷所　大阪朝日新聞發行所
大阪市北區中之島三丁目三番地

發行所　大阪市北區中之島三丁目三番地　株式會社　朝日新聞社

509
121


Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
KODAK Color Control Patches
© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP127082B
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black